

農福連携交付金活用セミナー

合同会社竹内農園
代表社員 竹内 巧

作業の細分化で活躍の場を増やす

ビジネスモデル賞 優秀賞



竹内巧さんと社会福祉士の資格を持つ妻の愛さん



竹内農園にとって利用者さんは「なくてはならない存在」

福祉と農業が連携する仕組みづくりを目指して2014年に新規就農した竹内巧さん。当初から福祉施設と業務委託契約を結び、障がいのある人たちとともに農園づくりを行ってきました。福祉施設の方と一緒に

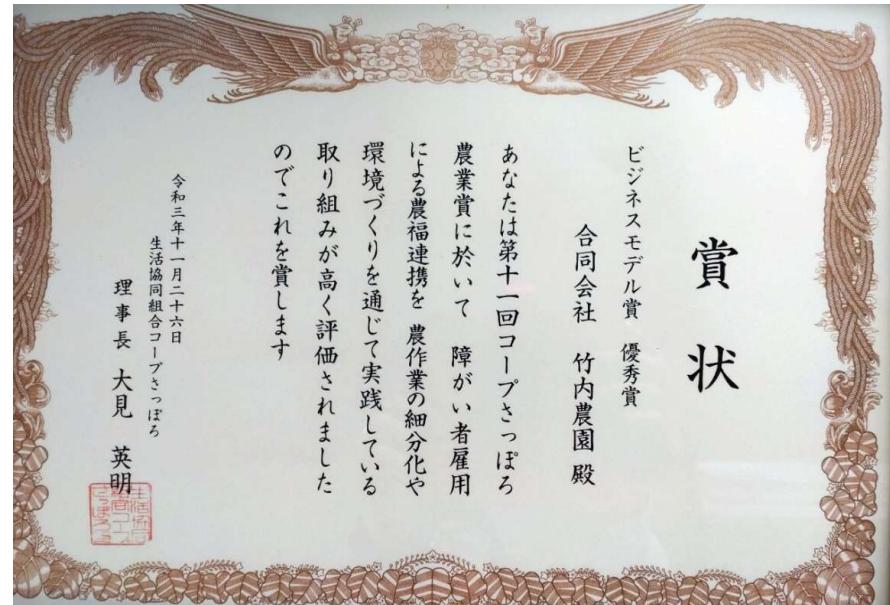
一緒に働くには、農家側も工夫が必要」と竹内さん。作業を細分化し、限られた時間や能力に応じて適材適所で活躍できるようにしました。栽培品目は主に手作業で行う野菜をメインに、5種類ほどを組み合わせ、農開期・端境期を極力少なくし、稼働日数が増えるよう新しい野菜の試験栽培を試みるなど、「竹内農園で働くさまざまな人たちが精神的にも金銭的にもより充実して働けるよう農福連携をプラットフォームをほしい」と意気込みを語ります。

あなたは第十一回コープさっぽろ農業賞に於いて、障がい者雇用による農福連携を、農作業の細分化や環境づくりを通じて実践している取り組みが高く評価されましたのでこれを賞します

ビジネスモデル賞 優秀賞

合同会社 竹内農園殿

賞 状



竹内農園のご紹介

第11回コープさっぽろ農業賞
ビジネスモデル賞 優秀賞
R3.11.26受賞

消費者の目線で北海道の優れた第一次産業の生産者を応援する賞

主催

北海道・札幌市・ホクレン・北海道ぎょれん・北海道生協連・コープさっぽろ

竹内農園のご紹介



当時の天皇皇后両陛下ご視察
開道150年記念式典に併せた地方のご視察
H30年8月3日



竹内農園のご紹介



R7年12月 なす露地 白ネギで登録
現在申請中

サニーレタス・リーフレタス・中玉トマト・
調理用トマト・人参・ピーマン

竹内農園のご紹介

平成26年新規就農と共に農福連携を開始

農福連携技術支援者育成研修 講師 (R2-R7)

農業者による農福連携の経営実務

農福連携技術支援者 令和6年取得

農山漁村振興交付金を活用した

マニュアル整備 令和4年から令和6年

ハウス整備 令和7年から令和9年



竹内農園の概要

・業務委託先

社会福祉法人 北ひろしま福祉会	北広島コラボ とみがおか	知的 生活介護 生活介護 入所	午前・午後1h 午前・午後1h	4月~11月 6月~10月	週5日 週2日
株式会社 ティクワン	ワークスタジオ恵庭 ワーククラフト恵庭	知的 就労移行 B型 B型	午前2h 午後1.5h 午前2h 午後1.5h	4月~11月	週5~6日 週5~6日

- ・私 妻 社員1名 パートさん2名
- ・ 3. 9ha ハウス4棟
 - ①育苗→ピーマン ②小松菜→ピーマン ③納屋ハウス
 - ④小松菜・レタス→中玉トマト→小松菜・春菊
- ・ 15種類の野菜を栽培し、200日の出荷作業

事前質問
立上当初、事業継続のため
に苦労=改善したこと
生・販・技のバランスをと
るため +事業所 +社員

今後の展望

R8より
社員 +1名 パート+1名
農地面積 +30%
ビニールハウス +1棟
(農山漁村振興交付金)
冷蔵庫 +1台
福祉事業所 +1事業所

ティクワンの作業依頼

2月 スノーシュー

4月 葉物播種、スナップエンドウ播種、トンネル掛け、草取り、袋詰め

5月 葉物播種、レタス定植、パオパオ掛け、袋詰め

6月 果菜類定植、トンネル掛け 草取り（レタス・スナップエンドウ）

7月 スナップエンドウ・インゲンの収穫、草取り（人参）、袋詰め

8月 果菜類・インゲンの収穫、スナップエンドウ片付け、袋詰め

9月 果菜類収穫、ネギ出荷調整、袋詰め

10月 ネギ出荷調整、袋詰め

11月 ネギ出荷調整、袋詰め

障がい支援程度の幅が広い
幅広く多くの種類の作業を頑張ってくれる



環境を作つてあげる

北広島コラボへの作業依頼

2月 スノーシュー

人数かけてワーッとやる作業が得意
細かい作業は得意・不得意が分かれる
ほぼ毎日来る

4月 石拾い

5月 花豆の播種

6月 花豆支柱、草取り（レタス・花豆・スナップエンドウ）

環境を作つてあげる

7月 インゲンの収穫、草取り（人参）

8月 インゲンの収穫、スナップエンドウ片付け

9月 インゲンの収穫、人参収穫 ハウストマト片付け

10月 人参、花豆収穫

事前質問

立上当初、事業継続のため
に苦労 = 改善したこと

11月 人参、花豆収穫、花豆支柱片付け

生・販・技のバランスをと
るため トライ&エラー

とみがおかへの作業依頼

6月 食用ほおづき定植 支柱差し 雑草取り

7月 食用ほおづき雑草取り

8月 スナップエンドウ片付け 食用ほおづき雑草取り

9月 スナップエンドウ片付け 食用ほおづき雑草取り

10月 もみ殻まき 人参収穫

障がい支援程度は重い
ほおづきの定植は繊細さをそこまで求めない
ほおづきは除草剤がないのでは
ほおづきで稼ぐからもみ殻まきもお願いできる



環境を作ってあげる

農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち

地域資源活用価値創出推進・整備事業（農福連携型）

【令和7年度予算額 7,389（8,389）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

農福連携の一層の推進に向け、障害者等の農林水産業に関する技術の習得、障害者等に農業体験を提供するユニバーサル農園※の開設、農福連携を地域で広げるための取組、障害者等が作業に携わる生産・加工・販売施設の整備、全国的な展開に向けた普及啓発、都道府県による専門人材育成の取組等を支援します。

※ 農業分野への就業を希望する障害者等に対し、農業体験を提供する事業

＜事業目標＞

農福連携等に取り組む主体数（12,000件【令和12年度まで】）

＜事業の内容＞

1. 地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業

障害者等の農林水産業に関する技術の習得、作業工程のマニュアル化、ユニバーサル農園の開設、移動式トイレの導入、農福連携を地域で広げるための取組等を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：定額（上限：150万円/年、経営支援又は地域協議会の設立及び体制整備300万円/年、作業マニュアルの作成等に取り組む場合は初年度の額に40万円加算可能）】

② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業

農福連携の全国的な横展開に向けた取組、農福連携の定着に向けた専門人材の育成等を支援します。

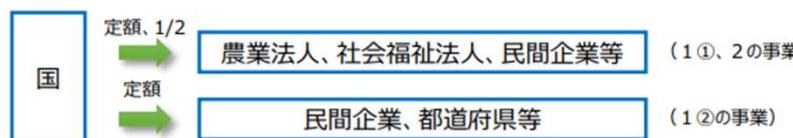
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限500万円等）】

2. 地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）

障害者等が作業に携わる生産施設、ユニバーサル農園施設、安全・衛生面に係る附帯施設等の整備を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：1/2（上限：簡易整備200万円、高度経営1,000万円、経営支援2,500万円、介護・機能維持400万円）】

＜事業の流れ＞



※下線部は拡充事項

事前質問

アボカドでB型創めたい
使える事業は？

＜事業イメージ＞

1. 地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業



② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業



2. 地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）



【お問い合わせ先】農村振興局都市農村交流課（03-3502-0033）1

B

A

①抜いて運ぶ

②袋詰め

③畑作業

④マニュアル整備

抜いて運ぶ ハウス片付け



事前質問
作業細分化のコツは？

できることをできるだけたくさんやってもらう。できなければ職員さんに助けてもらう、農家がやります

生活介護事業所

根を抜く
スズランテープ切り・回収
残渣の運び出し
直管の運び出し
支柱抜き・運ぶ

マルチ押さえ回収
マルチふろしき
灌水チューブのジャバラ折り

B型事業所

抜いて運ぶ ほおづき (露地果菜類)



生活介護事業所

スズランテープ切り・回収

いぼ竹 電牧のポール抜き

電牧の線回収 リールを回す

B型事業所

抜いて運ぶ 花豆



生活介護事業所

収穫

スズランテープ切り・回収

いぼ竹抜き 運び

抜いて運ぶ 花豆



単管のやぐらの中に支柱を運ぶ
向きをそろえる
折れたものはやぐらの外

20本でスズランで蝶々結び



抜いて運ぶ 人参

生活介護事業所

収穫

動画

抜いて運ぶ 草取り



生活介護事業所



生活介護

B型事業所

ナスの草取り
トンネルとマルチの間の草取り



レタスの草取り
区別がつかない人もいる



抜いて運ぶ まとめ

- ・ハウスの片付け、出来る人多い
- ・単発の仕事だと福祉事業所のメリット少ない
- ・継続的に来てもらう工夫 環境を作る
- ・収穫（＝売上）をしてもらうと 農家から呼びやすい
- ・トンネルビニール・ポール回収もニーズある



①抜いて運ぶ

②袋詰め

③畑作業

④マニュアル整備

野菜の袋詰め 作業

- 野菜の計量
- 袋に詰める
- バーコードを貼る
- コンテナに入れる

